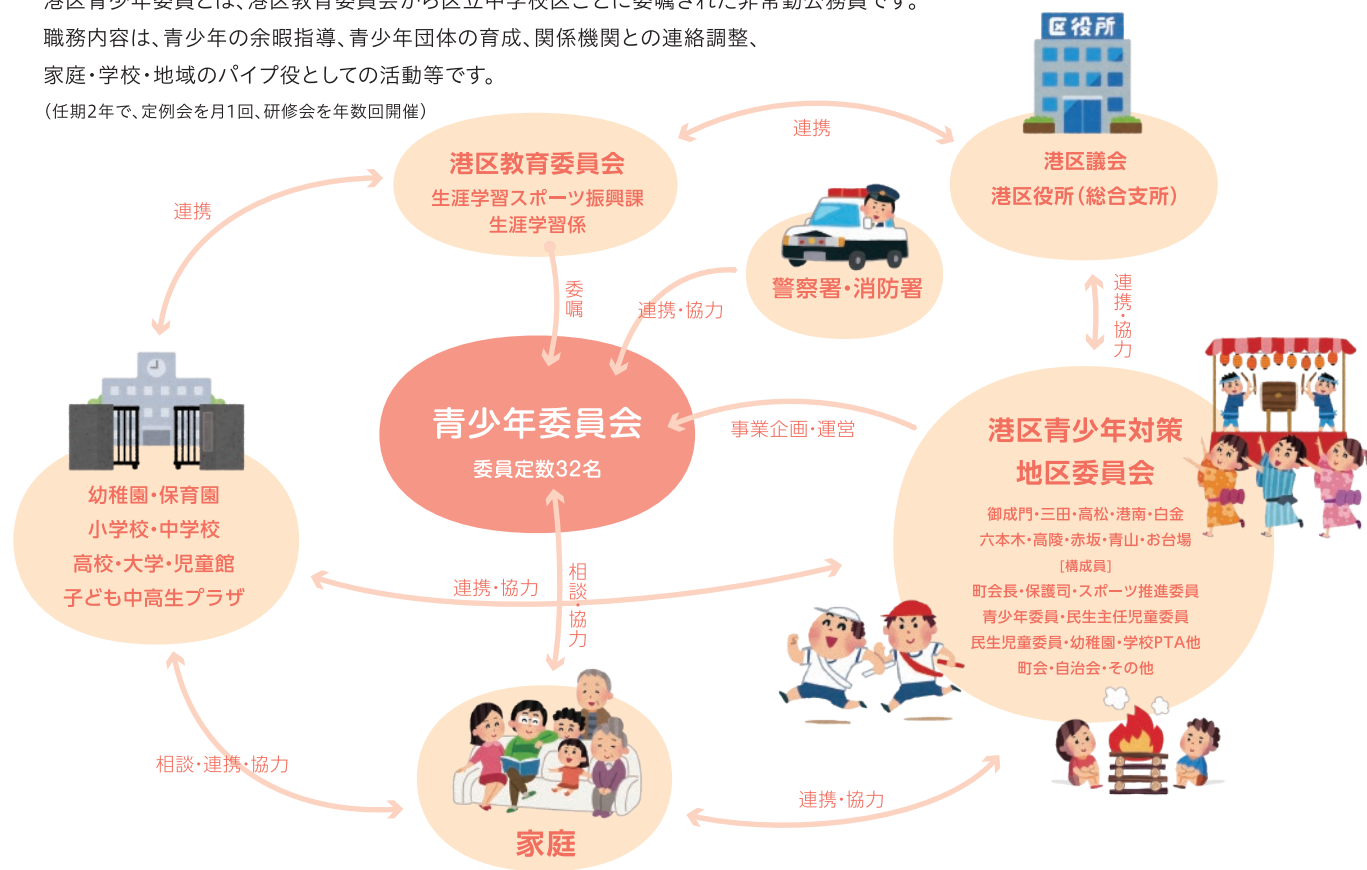


【 青少年委員会のしくみ 】

港区青少年委員とは、港区教育委員会から区立中学校区ごとに委嘱された非常勤公務員です。
職務内容は、青少年の余暇指導、青少年団体の育成、関係機関との連絡調整、
家庭・学校・地域のパイプ役としての活動等です。
(任期2年で、定例会を月1回、研修会を年数回開催)



【 予定イベント 】

8月: みなとキャンプ村

5地区2グループに分かれた日程で、山梨県小菅村平山キャンプ場を2泊3日で行います。キャンプ場では各地区それぞれ考えた野外活動やイベントを体験します。



10月: みなと区民まつり

青少年委員会でブースを出店し、子どもたちにいろいろなゲームを提供しています。



各地区イベント

年間を通して、いちご狩りや芋掘り、運動会、スキー教室など各地区趣向を凝らした行事を企画します。



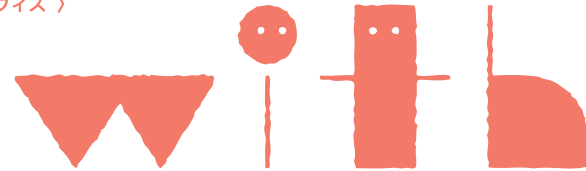
【 編集後記 】

新型コロナウィルス感染症が収束することなく、様々なイベントや行事が中止となっていたため、広報誌の内容自体今までと同じような構成で作成することができずでしたが、高校生を対象に結成した平和青年団や新成人の実行委員会が企画した成人式の行事も支援していますので、今回はいつもよりスペースを使い紹介することとしました。皆様のご協力の下、何とか発行にこぎつけましたこと感謝致します。
青少年委員会 広報委員長 太田 智昭(白金地区)

【 広報委員会 】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 太田 智昭(白金地区) | 安達 伸幸(六本木地区) |
| 廣田 千秋(三田地区) | 古長谷 聡(六本木地区) |
| 池田 扶美(港南地区) | 綿谷 和宏(高陵地区) |
| 高家 多希雄(港南地区) | ファン フローレス(青山地区) |

港区青少年委員会だより
(ウイズ)



Minato City
Youth Committees

Vol.

100

令和4年3月16日(水)

【発行】

港区青少年委員会
港区教育委員会事務局内
Tel.03-3578-2742



地域の子どもは地域が見まもる子育て環境

青少年委員は学校、家庭、地域、行政と連携をとりながら、夏休みに開催される「みなとキャンプ村」事業をはじめ、各地域様々なイベント、行事の運営を担っています。ここ数年は、新型コロナの影響で学校や地域行事、区の事業など、多くの予定されていた行事が、中止や、縮小を余儀なくされました。地域の活動や学校以外の野外活動は子どもたちの健全育成の重要な機会でもあり、その多くに我々青少年委員が関わっております。
ご家庭や普段の生活でも、子どもたちはコロナ禍での活動が制約され、ストレスを感じている状況も多く、その状況を打破し少しでも改善できないか、我々に何が出来るか、何か思い出作りの活動は出来ないだろうか?と検討しています。
感染防止対策を十分に考慮しながら、子どもたちが安全安心に参加できるよう思考を重ね、各地域の

行事を計画している地域もございませう。多感な子どもたちの大事な時期に、我々地域の大人が一丸となって、子どもたちのマスクの向こうに見える笑顔を想像しながら、子どもたちの地元「ふるさと」の思い出をサポートしていければと思います。
地域の青少年委員は、子どもの笑顔が大好きです！毎日が楽しく暮らせるよう全力でサポートする楽しい仲間です！



青少年委員会 副会長
間瀬 法美



青少年関連のイベント情報や地域情報を配信しています。ご覧いただき、各イベントにご参加ください。



<http://seishonen.tokyo>



「港区成人の日記念のつどい」



実行委員を経験して

石原知歩さん

招待状とメッセージグッズ担当。今回頑張ったことは、テーマ「変化」を一貫させる式にしようと、テーマを深掘し、デザインに落とし込んだこと。苦労したことは誰が決定権を持っているのか不明瞭だったため、毎回の担当者に連絡を取っていた点。楽しかったことは同じ班の仲間とカフェでアイデアを出し合ったり、議論したこと。また、実行委員に名乗り出るといった意識が高い同い年の考えや意見が聞けたこと。応募した動機は、成人式は人生で一度しかなく、誰かに委ねるのではなく自分で作りたかったから。これからの成人になる中高生へ、成人式は二十歳の節目として感謝することが大事です。さらに、未来に向けての強い意志を持って、成人を祝う会に出席してほしいと思います。



豊原菜々さん

私は港区に友人がおらず、当初成人式に出席する予定もありませんでしたが、成人式に実行委員として参加する方法を知り応募しました。こういった活動は未経験でしたが、職員の方々の優しいサポートのおかげで充実した活動ができましたし、活動を通して実行委員の人たちと仲良くなって友達もたくさんできました。港区の成人式はプリンスホテルに東京タワーと本当に素敵だったので、友人が港区にいないという理由で区の成人式への参加を迷っている方は是非実行委員としての参加してみてください！

藤原千那美さん

ステージイベントを担当させていただきました。一番大変だったことは、コロナ禍の中、港区内の様々な学校をまわり、先生方のメッセージ動画を集めることでした。無事ステージイベントを成功させることができたときは大きな達成感を感じることができました。成人式に関わってくださった皆さま本当にありがとうございました。



長澤日和さん

招待状、当日の写真スポットのデザインを担当させていただきました。招待状にはそのテーマである「変化」のロゴを入れ東京タワーをはじめとする港区のランドスケープをイメージしました。未来に向かってのびる矢印、「20」には成人の祝いを込めました。これから成人になる皆さん、興味のあることにとことん熱中して楽しんでほしいです。失敗は未来に大きな成功を与えてくれるものだと思います！思いきり挑戦し続けてください！

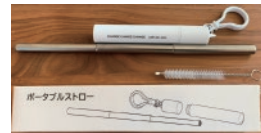
毎年成人の日で開催される、「港区成人の日記念のつどい」。新成人数名からなる実行委員が、招待状、記念品、イベント等様々な企画を、夏頃から検討し、当日参加する新成人を迎えます。青少年委員はその実行委員会でのアドバイスや式典当日来場する新成人の誘導などの支援を行っております。令和3年度の式典は、新型コロナウイルス対策のため、これまでの開催方法とは全く異なる2部制とし感染症対策として座席の間隔を開け、短時間の着座による開催になりました。

令和3年度 成人の日記念のつどい実行委員会 担当青少年委員：高家 多希雄(港南地区)

成人のつどいは、新成人の有志による実行委員会と区が連携し企画運営されています。今年のテーマは「変化」。密を避けるべく、2部制、QRコードからの事前申込み、受付に選挙システムを活用し当日はYouTube配信されるなど、全てにおいて「変化」を実践しコロナ禍での初開催となりました。青少年委員は例年アドバイザーと当日のお手伝いをしていきます。新成人の晴れ舞台、保護者にとって20年という節目、開催できたことが何よりです。成人のみならず、おめでとう！終わらなき冒険の始まりですよ。



今年のテーマは「変化」：実行委員が検討したテーマをデザインし、新成人に招待状が送られます



式典来場者には、実行委員が選定した記念品が送られます。今年の記念品はマイストロー



「港区平和青年団」



令和3年度平和青年団 担当青少年委員：信夫 浩(高松地区)

8月8日～9日の2日間、港区平和青年団として、今年はコロナ禍のため、東京プリンスホテルからリモートで参加しました。平和祈念式典や青少年フォーラム等、いろいろな世代の青少年と平和について意見交換したり、戦争の悲劇や平和の大切さをあらためて確認した貴重な時間でした。

私たち

令和3年度港区平和青年団は、長崎派遣研修に向けて、令和3年6月から事前研修を行いました。事前研修では、「港区語り部の会」の皆様との交流のほか、都立第五福竜丸展示館と昭和館・しょうけい館を訪れ、平和に関する知識を深めました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、被爆地長崎への派遣研修は中止となりましたが、長崎派遣団員研修では、オンラインで開催された青少年ピースフォーラムに参加し、「平和とは何か」「平和だと思うこと」等について意見交換をしました。また、8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典のオンライン参加や被爆者の方々の講話などを通して、改めて原爆や核兵器の悲惨さ、平和の尊さを学びました。そして、8月21日、これまでの研修で学んだ成果を生かし、原爆や核兵器の悲惨さ、平和の尊さを地域に伝える活動報告会を行いました。



港区平和青年団とは、港区内の高校に通っている高校生を対象に結成されます。6月から事前研修を重ね、長崎で行われる、『長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典』へ参加し、原爆、核兵器の悲惨さ、普段意識することのない平和の尊さを学びます。青少年委員は結成される青年団の団長として各種研修や平和祈念式典への参加、最後の活動報告会に同行し高校生たちを支援しております。



朝起きて

家の近くを散歩していると、鳥のさえずりや発車する電車の音が聞こえて平和と感じます。なぜなら、いつもと変わらない穏やかな一日が今日も始まってくれと思うと安心するからです。

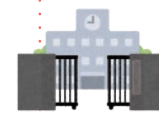
家族で

食事をしている時が1番平和を感じます。今日あったことなどを話したり、テレビを見たりしながら家族で団欒すると、心がとても和むなと思います。家族で食卓を囲むという当たり前のことに幸せとありがたみを感じ、平和だなぁという気持ちも持つことができるようになりました。

友達との食事

私が平和だと思うのは友達との食事です。戦時中は食料が少なく、話すことを楽しみながら食事をとることは難しかったと思います。しかし、今は深刻な食糧難はなく、空腹もないので急いで食べる必要がなく平和と感じます。

私が平和だと感じる時は学校に行き、学びたい科目を勉強できる時だと思います。戦前の日本は治安維持法などで、言論の自由を奪っていました。現在の日本にはそのようなことはないのです。安心して勉強ができます。



キノコ

原爆に象徴される雲と赤黒い空と、対比できる様な鯨雲と青い空。日常で空を見上げ、綺麗な雲を見つけられる余裕これからも大切にしたいと改めて感じました。

私は、勉強できることが日常の中にある平和だと考えます。その理由として、勉強は自分だけで無く社会全体が自分の生存に必要な行動以外にも時間を割けるくらい平和でないと出来ないからです。



私は、お腹いっぱいご飯を食べている時が平和だと感じます。家族揃って食事が出来るのが当たり前となる現代はとても平和です。この日常を壊さないためにも、一人ひとりが平和について考えることをやめてはいけなく強く思います。

弟と散歩をしている時。特に「姉弟の絆」のようなものを感じる時に平和だな、と思います。

※令和3年度 港区平和青年団活動報告書 抜粋

